

杜の都の市民環境教育・学習推進会議の SDGs＋ESDの取り組み

**FEEL Sendai委員 : 柳沼 真理
仙台市環境共生課: 齋藤 雅晃**

杜の都の市民環境教育・学習推進会議とは？

フィール せんだい
愛称 **FEEL Sendai**

Forum（公開会議、広場）for **E**nvironmental（環境の）
Education（教育）& **L**earning（学習）
in **S**endai, City of Trees（杜の都仙台）

- ・「仙台市環境教育・学習プラン」の提案を受け、平成16年5月設立
- ・市民・NPO・学校・事業者・市などで構成
（団体委員：19団体、個人委員：2名）

環境教育・学習を推進する団体です

杜の都の市民環境教育・学習推進会議とは？

[環境社会実験]

未来プロジェクト in 仙台

杜々かんきょうレスキュー隊

環境に配慮した行動をとれる人（杜々かんきょうレスキュー隊）になれるよう、NPOなどが作成した環境学習プログラムを小学校や保育所等で実施しています。

持続可能な社会の実現のため、環境に配慮した行動を市民に広げる企画を募集し、実施します。

環境フォーラムせんだい

NPO・学生などが連携して企画・運営を行い、市民が気軽に参加して楽しみながら環境への理解を深めるためのイベントを開催しています。

せんだい環境ユースカレッジ

環境教育・学習を担う人材の育成を目指し、若い世代を対象に環境に関する講義や活動を体験しながら経験を深めるとともに、環境に関わる人とのつながりづくりを支援します。

令和2年度の取り組み

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ほとんどの事業を休止しました。
- 一方で、環境学習のできる動画を作成し、どこでも環境教育・学習のきっかけを得られるよう取り組みました。



杜々かんきょうレスキュー隊

【目的・事業趣旨】

- 仙台市内の特色ある地域や自然環境をフィールドにした環境学習プログラムを環境NPOなどに作成していただき、そのプログラムを実践する事業です。
- 小中学生や市民の皆さんにプログラムを体験していただき、身近な環境問題などに、気づき、考え、そして行動することのできる「人」(＝かんきょうレスキュー隊)を育成することを目的としています。



杜々かんきょうレスキュー隊

【経緯】

- 平成15年度に環境省の「体験的環境学習推進事業」を仙台市環境局が受託して開始しました。
- FEEL Sendaiの設立後、この事業の多面性・多機能性がFEEL Sendaiの活動趣旨に合致していたことから、平成17年度よりFEEL Sendaiの事業となり、現在も人気の事業になっています。



杜々かんきょうレスキュー隊

【事業内容】

環境NPO等による環境学習プログラム作成



環境学習プログラム集作成・学校等に配布



学校等が利用したいプログラムを選択・申し込み



環境NPO等によるプログラムの実践

杜々かんきょうレスキュー隊

【事業内容】

- 毎年異なるテーマを定め、環境NPO等がそのテーマに即した環境学習プログラムを作成することで、様々な分野の環境学習プログラムを拡充してきました。

年度	テーマ
平成15	水
平成16	生活環境
平成17	食
平成18	炎・明り
平成19	緑
平成20	幼児向け環境学習プログラム
平成21	地域
平成22	いのちのつながり
平成23	※作成無し

年度	テーマ
平成24	地域の復興
平成25	わたしたちの暮らしとエネルギー
平成26	地域の環境と防災
平成27	※テーマ無し
平成28	自然環境・自然の力
平成29	※テーマ無し
平成30	※テーマ無し
令和元	※テーマ無し
令和2	※作成無し

東日本大震災発災

杜々かんきょうレスキュー隊

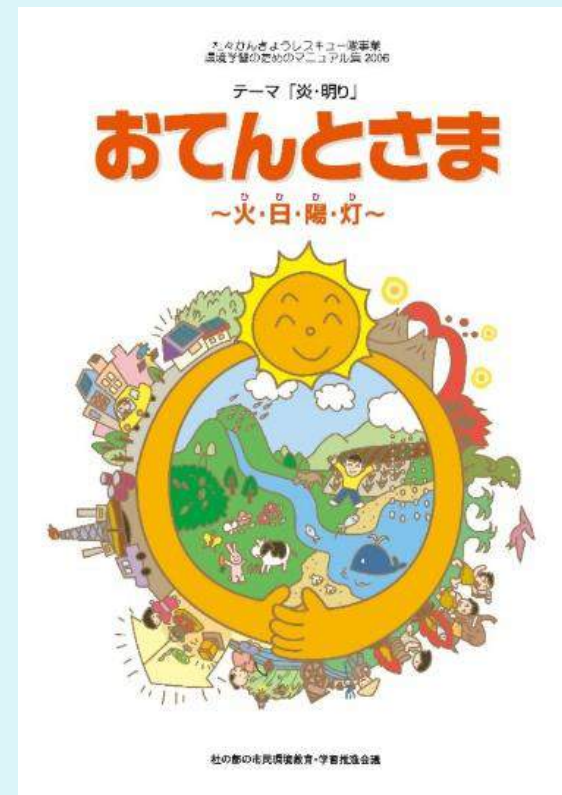
【事業内容】



※平成16年度作成



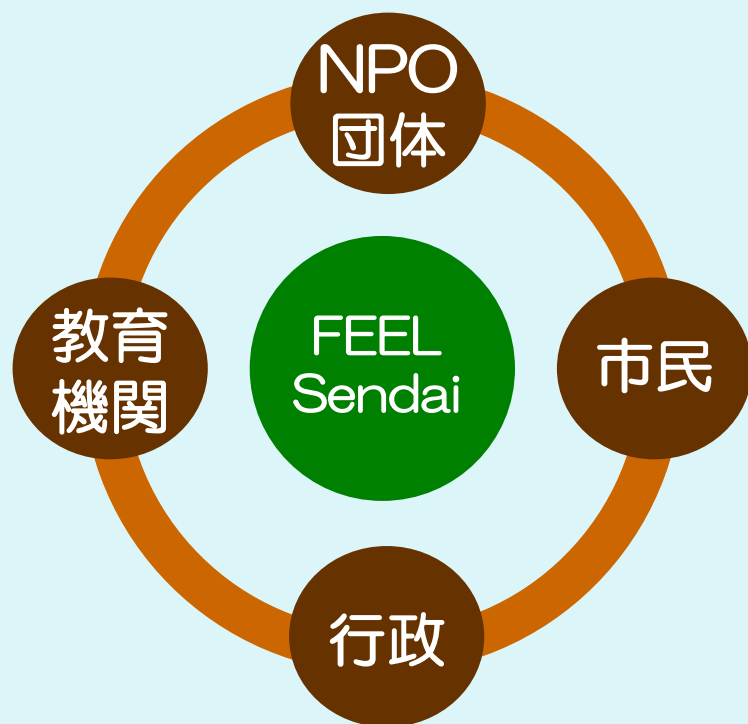
※平成17年度作成



※平成18年度作成

杜々かんきょうレスキュー隊

【FEEL Sendaiの役割】



環境NPO等と学校等をつなげ、環境教育・学習を推進